



北井上カリフラワー部会は、令和3年3月に発足した、設立から3年目の部会です。北井上地区のみならず、近隣地域の出荷者も受け入れ、現在部会員は10名、佐野友彦さん(46)【写真真列中央】が部会長を務めます。

部会員のほとんどは、主にブロッコリーを栽培する若手生産者です。4年前に県内でブロッコリーの「黒すず病」が蔓延し、被害が相次ぎました。他品目の導入でリスク分散を

目指すため、アブラナ科で使用設備も同じカリフラワーに白羽の矢が立ちました。元々、佐野部会長が数年前からカリフラワーを個人出荷していたこともあり、同志がだんだんと集まりました。

高品質なカリフラワーを消費者に届けるため、施肥の調整や土壌に合った品種試験を重ねています。栽培への努力を惜しまず、切磋琢磨しながら生産に励み、主に関西方面の市場へ出荷しています。一緒に生産に励んでくれる部会員をまだまだ募集しています。



びざん

JA NEWS 2024 NO.660

ナシ火傷病対策 花粉自家採取



中国での火傷病発生によってナシの花粉の輸入が禁止となったことを受け、3月初旬より応神梨部会の各生産者は、花粉の自家採取を始めました。3月1日、応神梨部会の生産者永岡味子さんは、開花1ヶ月前の「長十郎」と「幸水」の結果枝(果実をつける側枝)にワックス紙を被覆しました。上向きの短果枝(短い枝の芽が花芽となったもの)には芽袋ワックス紙を被覆し、それぞれ開花を促進させます。

3月10日頃(開花前30〜40日)までに被覆することで、芽袋ワックス紙による開花促進は4〜6日とされています。4月初旬頃、「豊水」の受粉にこれらの花粉を利用する方針です。さらに次年度の受粉用として、切り枝から採取する花粉を貯蔵します。開花前の切り枝を水の入ったバケツに入れて保温・保湿します。開花・純花粉の精選は、2月下旬の講習会で周知しており、生産者各自で採取します。また、前年に採取した貯蔵花粉の発芽率を調査し、使用に適切な希釈倍率の分析も行います。

永岡さんは、「対策ができるのも指導あつてのもの。少しでも生産維持に繋げられるように努めたい。」と話し、南部営農経済センター山本浩史指導員は、「花の採取時期により発芽率が低い可能性もあるため、花芽ステージの適切な見極めが必要だ。」と話しました。【写真は、剪定枝をワックス紙で被覆する永岡さん】



新しい活動費確保の仕組みづくり 青壮年部共同でブロッコリーを栽培

南井上事務所青壮年部は今年度より共同圃場でブロッコリーを栽培し、出荷した収益を部の活動費として計上する新しいスタイルを実験的に始めました。3月中旬から、約10坪の圃場で収穫が始まり、下旬までに約200kg(1kg6kg)の出荷を予定しています。(3月22日取材時)

収益から作業を行った部会員の人件費、肥料・農薬などの必要経費を差し引いても、部会員の15名から今まで徴収していた部会費より、さらに多くの活動費が確保できる予定です。

同部兼手達矢部会長は「同じ作物を共同で栽培することで、より親睦が深まった。栽培に関する情報交換の場ができたことは大きなメリットになった。」と話しました。次年度からは、現圃場で品種試験を行う他、肥料・農薬の試験導入も段階的に行い、情報共有に役立てる計画です。同部兼手達矢部会長は、「若手生産者の視点から、将来の農業における懸念を共有し、模索するきっかけにもなった。今後は、発泡スチロールの高騰を見据え、新しいブロッコリーの出荷形態について柔軟に知恵を出しあっていきたい。」と意欲を燃やします。【写真は、ブロッコリーを収穫する、兼手達矢部長(左)と兼手宏紀さん(右)】





「ふるさとの味 思い出して」

いちご生産者が卒業生にいちご贈呈



3月12日、多岐良いちご部会の若手生産者が、まもなく卒業を迎える徳島市立宮井小学校6年生の児童にいちごを贈呈しました。

「いちごの妖精」に扮した部員の瀬畑俊大さん、木下麻衣さん、新居延智香子さんが6年生の教室をサプライズで訪れ、児童一人一人に、「さらのか」1パックずつを手渡しました。

児童たちは、瀬畑さんたちの演出に驚きながらも満面の笑顔でいちごを受け取りました。新居延さんは「将来、ふるさとを離れることがあったとしても、この年照の灯るあたかい地域のことを思い出して欲しい。」と児童たちに向けて言葉を贈りました。

アグリサポートセンター 水稲の稲播き作業 順調

アグリサポートセンターでは3月13日から、育苗箱への水稲の種まき作業を行っています。育苗箱は加温室で2日間、室温29.5度に保ち、その後育苗ハウスで管理します。種まき作業は5月中旬まで随時行われます。今年は約8万9,900枚の予約注文がありました。全体のうち「コシヒカリ」の発注枚数が約6割強を占め、残りは「あささかり」です。苗の初出荷は4月10日を予定しています。



「佐那河内村果樹アグリスクール」修了式

3月18日、佐那河内村が主催する「佐那河内村果樹アグリスクール」の修了式が佐那河内村役場で開催されました。令和5年度の受講者9名へ、校長である岩城福治村長から、修了証書が手渡されました。

今期の「佐那河内村果樹アグリスクール」は、昨年6月より開校されました。果樹生産向上、栽培技術の習得のため、当JA南部営農経済センターから高橋和輝職員、島津憲資職員も受講しました。すだち・みかん・キウイフルーツ等、果樹全般の幅広い栽培技術習得のカリキュラムが構成され、座学と実習で全11回の講義が行われました。また、講師は、当JAの営農指導員、徳島県立農林水産総合技術支援センターの職員、村内のベテラン農家などが務めました。



百合の出荷順調 選花・選別時の規格を徹底



中央集出荷場では、お彼岸・卒入学シーズンをひかえ、花卉の出荷作業が忙しさを増しています。(3月12日取材時) 今月に入り全品目で日量平均2万本を選花しており、3月末までに関西方面の市場へ約25万本が出荷される見込みです。

最も多い品目は百合で、管内の生産者は、球根をオランダ、ニュージーランド、チリなどから輸入しています。出荷は10月中旬から始まり7月上旬まで続きます。昨年度は約80万本が出荷され、販売金額は2億1,000万円でした。

今年度は、秋の高温や年明けの寒暖差の影響もありましたが品質は良好です。生産者が軸の固さ、つぼみの大きさ、傷・病害虫・奇形の有無などを確認し9段階に手選別したものを、検査員が一箱一箱、入念にチェックし出荷されます。百合部会 赤坂伸一郎部長は、「3月に入り例年比へ低温が続いているが、温度管理に注意したい。選花・選別の徹底によりバラつきをなくし、市場からの信頼を維持したい。」と話しています。

JA徳島市限定

Nintendo SwitchとNintendo Switch Liteが、自動車共済のご成約で! 12名様に当たる!

Thank you
キャンペーン

の抽選を行いました!!



令和5年11月10日～令和6年2月29日の期間中、JAの自動車共済をご成約いただいた組合員の皆様を対象に、Nintendo SwitchとNintendo Switch Liteを抽選で合計12名様にプレゼントさせていただくキャンペーンにたくさんのご応募をいただきありがとうございました。

3月13日、ご応募を頂いた80名様に厳正なる抽選を行いました。

当選者の皆様へは、当JAより商品が発送されます。尚、当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。



水稻と気象(徳島農業支援センター)

令和5年度の水稲と気象

徳島気象台データ 2023年6月

四国地方は、5月29日ごろに梅雨入りしたとみられます

四国地方は、前線の影響で曇りや雨となっています。向こう1週間も、前線の影響で曇りや雨の日が多い見込みです。
このため、四国地方は5月29日ごろに梅雨入りしたとみられます。
平年(6月5日ごろ)と比べ7日早く、昨年(6月11日ごろ)と比べ13日早い梅雨入りとなりました。

令和5年度の気象の特徴

気温 6月上旬は、平年よりも0.8℃低く、
7月は、平年よりも1.1℃高かった
梅雨入り 平年より7日、前年より13日早かった

展示のデータ 設置場所:徳島市 定植日:5月1日 品種:コシヒカリ 同一ほ場にて

最高分けつ数 5年度 327本/m²(前年比約70%)
成熟期穂数 5年度 338本/m²(前年比約93%)

早い梅雨入りによる曇天と6月上旬の低温で分けつ数が少なく、減収した可能性
7月の高温で高温障害が発生したと考えられる

要素	平均気温(℃)		
	本年	平年	階級区分
官署			
徳島	21.1	21.9	低い
池田	19.2	19.9	低い
7月上旬			
徳島	27.9	26.8	高い
池田	26.0	25.1	高い

高温障害対策

高温障害:出穂後20日間の平均気温が27℃を超えると白未熟粒が発生しやすくなる

①作付時期をずらす:コシヒカリは、5月1日頃よりは、4月15日~20日頃に早める

あきさかりは、5月10日頃よりは、5月25日~30日頃に遅くする

②水管理:掛け流し、夜間落水、収穫間際までの灌水

→水温、地温の上昇抑制、落水を遅らせることで、登熟促進と乾燥による胴割粒の防止

③土づくり:作土深は15cm程度、ケイ酸の施肥

→作土深15cm程度で、根が深く張り、根量が増加、

収量向上と白未熟粒軽減

④高温耐性品種の検討:令和2年度より、

高温耐性品種「にじのきらめき」現地試験を継続中

品種特性:高温耐性に優れ玄米品質は良好、短稈で耐倒伏性が高い、粒が大きい、

コシヒカリと比較して標肥で約104%、増肥で約114%と収量性が高い

ケイ酸の効果

- ・光合成の促進
- ・稈を強く倒伏軽減
- ・耐病性の向上
- ・根の活力向上 など

令和5年度に発生した病害虫の一例

温暖化による集中豪雨の多発で、今後注意が必要な病気

①黄化萎縮病

時期:令和5年6月上旬の集中豪雨により県南部の一部地域で発生

原因:分けつ期(特に移植後30日前後)には場が浸冠水すると

周辺の雑草から遊走子がほ場に侵入してイネに感染

特徴:葉はやや短く幅が広くなり、いもち病に感染しやすくなる

奇形穂は不稔となり、大きな減収

対策:令和6年2月時点で、登録薬剤なし→排水対策による耕種の防除 徳島支援撮影

現地確認では、溝切りを行っていたほ場は、行っていないほ場と比べて、被害は小

②イネカメムシ

8月下旬に支援センターへ、2件の不稔の問合せあり

時期:令和5年8月下旬に、徳島市と小松島市のほ場で不稔の穂

原因:イネカメムシによる吸汁の可能性

特徴:穂が吸汁加害されると斑点米を生じ、乳熟期に加害が

はなはだしい場合は不稔となり、穂が立ったまま減収する

対策:薬剤防除 不稔対策は、出穂期に防除

斑点米対策は、穂ぞろい期に防除

→斑点米対策と防除時期がずれるため、注意が必要!



イネカメムシの成虫 農研機構提供

令和5年度の等級別格付け理由

8月~12月 JA徳島市

形質(主に心白、腹白) 47%

着色粒(主にカメムシ類) 29%

→高温障害とカメムシ被害が

等級低下の大きな要因

月別では、

8月検査

形質(主に心白、腹白) 53%

着色粒(主にカメムシ類) 18%

10月検査

着色粒(主にカメムシ類) 45%

形質(主に心白、腹白) 31%

→8月収穫は、高温障害

10月収穫は、カメムシ被害が多い

等級	2等 (kg)	3等 (kg)	規格外 (kg)	合計 (kg)	構成比
検査数量	1,600,620	90,270	48,600	1,739,490	
格付け理由					
量不足	381,630	5,430	0	387,060	22%
形質	803,430	20,100	1,950	825,480	47%
水分過多	0	0	0	0	0%
被害粒	22,200	0	900	23,100	1%
死米	0	600	0	600	0%
着色粒	393,360	64,140	44,790	502,290	29%
異種穀粒	0	0	0	0	0%
異物	0	0	960	960	0%
その他	0	0	0	0	0%

令和6年度 人事異動

当JAでは、四月一日付で次の通り、人事異動を完了しました。
()内は旧職名です。部署ごとに記載しております。

参事

田村 正宏 参事兼金融共済部長事務取扱
(参事兼審査室長事務取扱)

総合企画部

河野 友紀 課長代理(総合企画部係長)
阿部 駿作 係長(総合企画部)

総務部

佐藤 勇河 係長(総務部)

監査室

樋口 貴文 監査室室長(一次長職位)
(佐那河内支所支所長(一次長職位)
兼営農経済課長事務取扱)

審査室

佐野 哲也 審査室室長(課長職位)
(徳島支所課長代理)

営農経済部

井河 勝淑 部長兼営農センター長事務取扱
兼農産工場長事務取扱(営農経済部
部長兼営農センター長事務取扱)

金融共済部

折野 雅幸 資金運用課長兼共済事務課長事務取扱
(金融共済部 営農支援課長兼共済事務
課長事務取扱)

八万支所

伊藤 剛生 営農支援課長(営農経済部経済課長)

加茂名支所

東智也 支所長(川内支所支所長)
内藤 幸子 金融共済課長(国府支所金融共済課長)
近藤 祐 係長(加茂名支所)

眉山支所

浦屋 宏美 課長代理(多家良支所課長代理)
松本 美希 係長(多家良支所係長)
東前 宏一 係長(徳島支所係長)
大下 恵実 (国府支所)

佐那河内支所

井上 和行 支所長(一次長職位)兼営農経済課長事務取扱
(南部営農経済センター果樹選果場課長)

国府支所

相原 慎太郎 金融共済課長(多家良支所課長代理)

川内支所

戸田 智子 金融共済課長(佐那河内支所金融共済課長)
天野 智弘 係長(眉山支所)

徳島支所

近藤 直樹 支所長(徳島支所支所長)
山本 結子 課長代理(川内支所係長)
品山 由依 係長(川内支所)

多家良支所

出口 彩華 次田 美蓉 (金融共済部)
次田 美蓉 (徳島支所)

北部営農経済センター

佐藤 智栄美 課長代理(眉山支所課長代理)
喜内 貴史 係長(多家良支所)
森 健人 (八万支所)

徳島支所

菅野 美和 支所長(眉山支所)

川内支所

武市 英司 支所長(金融共済部 部長兼資金運用課長事務取扱)
畑中 強志 係長(徳島支所)

吉田 稔

相木 美里 係長(徳島支所)
美馬 圭佑 (国府支所)
谷田 沙貴 (川内支所)

庄野 和也

菅野 経済課長(北部営農経済センター) 経済課長
栗野 広志 経済課長(北部営農経済センター) 経済課長
竹内 伸樹 課長(北部営農経済センター) 課長
竹内 徹也 課長(東部営農経済センター) 課長
丸山 龍彦 (営農経済部)

南部営農経済センター

高橋 和輝 果樹選果場課長(北部営農経済センター) 営農課長
松本 秀平 係長(南部営農経済センター)

東部営農経済センター

三木 将志 課長代理(北部営農経済センター) 課長代理

全農とくしま出向

川野 源 係長(出向 全農)

新入職員

河見 直人 総合企画部
石川 雅美 八万支所
川野 凌大 徳島支所

みなさん、こんにちは。徳島住診クリニックの吉田です。今回は糖尿病の治療に関する薬剤のうち SGLT2 阻害薬について説明しました。今回は DPP-4 阻害薬について説明します。

DPP-4 阻害薬は 2009 年から使用開始になった糖尿病新薬です。このお薬は、短時間で「インクレチン」を分解してしまう「DPP-4」という酵素の働きを阻害する作用を持ちます。インクレチンは食後小腸から分泌され、血糖を上げる「インスリン」の分泌を促進し、血糖を上げる「グルカゴン」の分泌を抑える働きをします。DPP-4 が阻害されるとインクレチンが長持ちするので、インスリン増強・グルカゴン抑制となり血糖が下がることとなります。SU薬やSGLT2阻害薬と違い、体重には影響しません。

DPP-4 阻害薬は主に 7 種類あり、1 日 1 回の投与で 24 時間効果が持続しますが 1 日 2 回の場合や、週 1 回の服用で済む製剤もあります。これまでの糖尿病内服薬と違い、食事の影響を受けないため食前・食後関係なくいつでも服用ができます。単独投与では低血糖リスクがほとんどなく、高齢者にも使いやすい薬剤です。ただ、残念ながら大規模臨床試験で心血管イベントを有意に抑制したというエビデンスが、メトホルミンや SGLT2 阻害薬とは異なり認められず、そのため DPP-4 阻害薬は第 1 選択薬としては不適當となっています。

ただし、サルコペニアがある高齢者や eGFR 30mL/分/1.73m²未満の腎不全などで、メトホルミンや SGLT2 阻害薬を使いにくい場合は、DPP-4 阻害薬が第 1 選択薬となります。特に腎不全（透析も含む）では、用量調節が不要で、胆汁排泄のリナグリプチン（トラゼンタ）またはテネリグリプチン（テネリア）を使います。また、重度の肝障害がある場合は、用量調節が不要なシタグリプチン（ジャヌビア/グラクティブ）を使用します。

実際のところは DPP-4 阻害薬だけで重症糖尿病患者の食後高血糖を抑えるのは難しく、メトホルミンなどと併用することが多くなります。メトホルミンによって血液中に増加したインクレチンが分解されるのを DPP-4 阻害薬が止めるという相乗効果があることも分かっています。逆に、SU薬との併用においては重症低血糖をきたしやすいため注意が必要で、SU薬服用患者に追加投与の際は、SU薬を半減するようにします。また、GLP-1 受容体作動薬（後述）との併用は避けることとなっています。

低血糖症状以外で主な副作用は、便秘・胃部不快感・吐き気や下痢などの消化器症状ですが、まれに発疹や水疱性類天疱瘡も報告されていますので痒みや水疱・びらんなどが出現した場合は、内服を中止してすぐに医師に相談して下さい。

農地・経営など地区相談を実施します

農業に関する悩みや疑問などについて、農業委員や農地利用最適化推進委員が、アドバイスや情報提供を行います。ご相談は無料、予約不要ですので、お気軽にお越しください。

日時・場所 >

実施日	地区・時間・場所			
	9:30~10:30	11:00~12:00	13:30~14:30	15:00~16:00
6月3日(月)	多家良地区 (JA多家良支所)	勝占地区 (JA勝占事務所)	八万地区 (JA八万支所)	渭東地区 (JA渭東事務所)
6月4日(火)		加茂地区 (JA徳島支所)	上八万地区 (JA眉山支所)	入田地区 (入田コミセン)
6月5日(水)	川内地区 (JA川内支所)	応神地区 (JA応神事務所)	不動地区 (北部営農経済センター)	
6月6日(木)	国府地区 (JA国府支所)	南井上地区 (JA南井上事務所)	北井上地区 (JA北井上事務所)	

対象者 >

実施地区に居住する農業者
実施地区で新たに農地を利用したい農業者

主な相談内容 >

- ・農地の売買・貸し借り
- ・農地の転用
- ・遊休農地の活用
- ・農業者年金 など



徳島市農業委員会事務局
(☎088-621-5394) まで

無料法律相談
島田清弁護士

日時 第3土曜日 9:00~12:00
金融共済部へ事前に予約が必要
申込先 ☎088-622-8003
場所 本所1階金融相談室

無料税務相談
賀上延啓
税理士事務所

日時 5月7日(火)、14日(火)、21日(火)
9:30~15:00
申込先 総務部へ事前に予約が必要
☎088-622-6335
場所 本所1階金融相談室

理事会だより (令和6年3月29日)

協議事項

- | | |
|-----------------------------|------|
| (1) 第56年度事業計画について(総代会提出議案) | 【可決】 |
| (2) 令和6年度の余裕金運用について | 【可決】 |
| (3) JAバンク徳島経営戦略シートについて | 【可決】 |
| (4) 令和6年度内部監査計画について | 【可決】 |
| (5) 公益通報業務の連携に関する協定書の締結について | 【可決】 |
| (6) 3億円超の信用の供与について | 【可決】 |
| (7) 組合と理事の利益相反取引について | 【可決】 |
| (8) 出資口数の一部減口について | 【可決】 |

報告事項

- | |
|-------------------------------------|
| (1) 令和6年度監事監査計画について |
| (2) 令和5年度末監事監査日程について |
| (3) 令和5年度みのり監査法人による期中監査Ⅱの実施結果概要について |
| (4) 令和5年度みのり監査法人による期中監査Ⅲの実施について |
| (5) 債権回収について |
| (6) 理事会決議事項処理状況報告 |
| (7) 職員給与規程第23条別表 職位手当の変更について |

